

ポピュリズムとアート 報告書

＝目 次＝

はじめに 研究活動の概要	1
《記録》 アーティストと社会——ポピュリズムとアートを考えるトーク・イベント 小林エリカ公開インタビュー（聞き手：木村朗子） ディスカッション（司会：島村輝）	4
《論稿》 再魔術化する時代——先端テクノロジーと現代ポピュリズムの交差点 林 みどり	37
中華人民共和国建国前後の艾青——現代中国政治と芸術 泉 谷 陽 子	51
カンバスという盾 ゲルハルト・リヒターの芸術と「民主主義」の意味 西 野 路 代	73
現代アートはポピュリズムとどう渡り合えるのか ——クリストフ・シュリンゲンズィーフ《オーストリアを愛してくれ》をめぐって 鈴 木 賢 子	85
向かう方向について考える美術——シンガポール・ビエンナーレ2019 金 惠 信	107
池田忍著『手仕事の帝国日本』（岩波書店、2019年）を読んで考えたこと 田 丸 理 砂	113
格差社会を描いた韓国映画「パラサイト－半地下の家族」 金 香 男	117
編集後記に代えて	121

執筆者（掲載順）

小林エリカ（作家）

木村朗子（津田塾大学教授）

島村 輝（本学教授）

林みどり（立教大学教授）

泉谷陽子（本学准教授）

西野路代（本学非常勤講師）

鈴木賢子（本学非常勤講師）

金 惠信（沖縄県立大学准教授）

田丸理砂（本学教授）

金 香男（本学教授）

2019年度フェリス女学院大学学内共同研究
「ポピュリズムとアート」報告書

2020年3月発行

編集責任者 矢野久美子

発行 フェリス女学院大学

〒245-8650 横浜市泉区緑園4-5-3

TEL：045-812-8211（代表）

印刷 勝美印刷株式会社